

『楽友三田会歩こう会』
第35回楽友三田会 Walking の会
「目黒川・蛇崩川・呑川緑道ウォーク」開催のお知らせ

“夏の暑い日差しを避け、櫻の木陰を歩けば

今年いっぱい、元気一杯ダゼー……”

… そして10月は京都ウォーク！ 楽しみにしといておくれやす …

＜集合時刻、場所＞日時：9月2日(日)午前8時30分
JR 山手線目黒駅、改札口(中央)

今回は、暑い日差しを避けながらのウォーキング。JR目黒駅を出発、目黒川に沿って遡上、中目黒駅手前を左折して目黒川支流の蛇崩川を歩きます。途中 246 号線を跨いで駒澤辺りまで遡上します。向井潤吉画伯のアトリエを横に見ながら一旦 246 号線に出ます。桜新町辺りから呑川緑道に入ります。呑川は桜の名所として有名ですが、夏の間は木陰の下を散策する人が多く見られます。呑川緑道と別れ、その支流である九品仏川緑道に入り、ご存じ、自由が丘に至ります。自由が丘で渴いた喉を潤すのもよし、親しき仲間と歓談するのもよし。あゝ わが青春を思いだそう。

○行程と途中参加並びに退場駅

場 所	距離 (k m)	時刻	備 考
目黒駅	0.0	8:30	
目黒新橋(→目黒川)	0.6	8:40	
中目黒駅(→蛇崩川緑道)	2.3	9:10	東横線中目黒駅下車
駒繫神社	4.0	9:40	
三軒茶屋 (246号線)	5.7	10:10	
駒澤中学	7.4	10:35	
駒澤(246号線)	8.2	10:50	田園都市線駒澤大学駅下車
呑川緑道入口	9.2	11:10	
日体大	10.1	11:25	
都立大駅	12.7	12:15	東横線都立大駅下車
緑ヶ丘駅(→九品仏川緑道)	14.2	12:45	
自由が丘駅	15.3	13:10	

○費用：

1. 交通費 「JR目黒駅」までの往路交通費
「東横線自由が丘駅」からの復路交通費
2. 昼食・打ち上げ
自由が丘駅付近のサイゼリヤ 2,500 円程度

○本コースの特徴：

1. 騒々しい東京の街中にも、落ち着いた風情が売り！
2. 呑川では鴨の親子が我々を迎えてくれるカモ
3. 興味のある方は、「国民の生活が第一」党首の大邸宅を拝見しては。話題になります。
4. 各自に合わせた歩行距離：体調に合わせて、途中からの参加・終了が可能です。
5. 目黒川の名の由来、言わずと知れた目黒不動尊による。駅名「目黒」も同様です。ついでながら、目赤不動尊は文京区駒込近くにあり。目青不動尊は世田谷区太子堂にあり。目白不動尊は文京区関口に在ったものが、戦災で焼け、今は豊島区高田に移転している。山手線「目白」駅の名前も目白不動尊から取っている。山手線の駅名で、二つも不動尊から取っているのも、珍しいというか面白いですね。どうせなら駒込駅も「目赤」にすればよかったのに？
6. 蛇崩川の名前の由来は？ いろいろの資料を見る限りはっきりしていない。大水の時大蛇が出たとか、崖崩れが発生したときに付けられたとかあります。そこで私も新説を・・・下馬に駒繫神社が小高い台地に鎮座していますが、その神社を迂回するように川が流れています。したがってこの曲線を「蛇」に例えたのではないかと、そして大水の時その台地の削り落とすさまを「崩れ」と称したのではないかと・・・ご清聴ありがとうございます。
7. 呑川、その名の由来は「呑める川」とも、氾濫によって付近の村々を「呑み込んだ川」とも言われています。水源は桜新町辺りの湧水だとされている。現在は湧水の跡もなく不明。
8. 自由が丘の地名、駅名の由来は、手塚岸衛が自由主義教育を掲げ、1930年（昭和5年）に創立した自由ヶ丘学園から駅名とした。当初は「自由ヶ丘」だったが、近隣の地名が「自由が丘」としたため駅名も「自由が丘駅」とした。なお駅名は当初「九品仏駅」であったが、九品仏寺の近くに「九品仏」という駅が出来たため「自由ヶ丘」に改めた経緯がある。

○用意すること

靴：通常のウォーキングシューズ

日差し対策具 雨の対策 汗の対策、水分補給を怠りなく。

本会は無理をしないことを第一の旨としています。この点から、上記日程は当日の状況により、随時変更されることがあります。雨天の時は、自主的な判断で、参加・不参加をお決めください。決して無理をなさらないようお願いいたします。（「歩こう会」は、雷雨、台風、豪雨などの状況をのぞいて、基本的にはウォーキングを決行します）

楽友三田会「歩こう会」